

報道機関各位

令和元年9月26日
株式会社セキュアヴェイル
代表取締役社長 米今政臣

セキュアヴェイル セキュリティ運用支援ソフトウェア「LogStare® Collector」 Docker 対応版を提供開始

～LSC をより素早く、より手軽に利用開始可能に～

株式会社セキュアヴェイル（社長：米今 政臣、本社：大阪市北区、JASDAQ：3042）は、セキュリティ運用支援ソフトウェア「LogStare® Collector」（以下：LSC）の Docker 対応版を 2019 年 9 月 26 日にリリースし、Docker Hub に公開しました。

監視対象機器・監視項目データベースの継続的な追加や、クラウド環境での利用を見据えた SSL 通信対応など、お客様ニーズに沿ったバージョンアップを重ねる LSC は、ネットワークとログの一元管理を実現する新たなセキュリティ運用支援ツールとして、情報システムご担当者を中心としたユーザー様より日々多くのダウンロードを獲得しております。

昨今、システムの開発・検証環境から本番環境まで幅広く利用されている Docker（※）に対応した LSC をリリースしたことで、より素早く、より手軽に LSC を利用開始いただけるようになりました。

※Docker は、コンテナと呼ばれる OS レベルの仮想化環境を提供するオープンソースソフトウェアです。他の仮想化技術と比べて、ディスク使用量は少なく、仮想環境（インスタンス）作成や起動は速く、性能劣化がほとんどないという利点があります。



※Docker 上における LSC 活用イメージ

【LSC Docker 対応版の特長】

LSC Docker イメージでは、LSC の動作に必要なパッケージがあらかじめ組み込まれております。そのため、LSC の初期起動に必要な各パッケージを [検索] [ダウンロード] [インストール] するといった手間を省き、下記のようなコマンドのみで Linux Docker 環境における LSC のご利用を開始していただけます。

このように導入がより簡単で素早くなるだけでなく、LSC 利用環境にインストールによる影響を与えないため、検証を目的としたケースなどにおいても、より手軽にご利用いただけるようになりました。

```
docker run -d -p 80:80 -p 162:162/udp -p 21:21 -p 514:514/udp secuavail/logstarecollector:1.9.0
```

※ポートマッピングに関しては、ご利用環境に応じてご指定ください。上記のコマンドは、以下の用途でポートマッピングを行った場合の例となります。

・ 80/tcp=LSC への HTTP アクセス	・ 21/tcp=FTP 収集
・ 162/udp=SNMP Trap 監視	・ 514/udp=Syslog 収集

【今後の展開】

今回の Docker 対応のような動作環境の拡張、LSC の機能拡充・改善を継続するとともに、当社が次世代のシステム監視・セキュリティ運用基盤と位置づける「NetStare® Suite」との連携を強化し、お客様企業で必要とされる、セキュリティ運用製品及びサービスのリリースを進めて参ります。

【LogStare® Collector について】

LSC は、2001 年の創業時からセキュリティ運用サービスを提供し続ける株式会社セキュアヴェイルが、自社のセキュリティマネジメントサービス「NetStare® (ネットステア)」と統合ログ管理システム「LogStare® (ログステア)」との経験を基に独自開発した、セキュリティ運用支援ソフトウェアです。

「LSC」の無償版ソフトウェアは、以下の URL よりダウンロードいただけます。

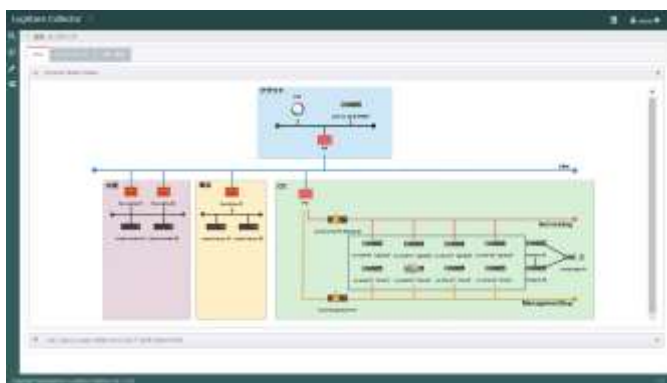
<https://www.secuavail.com/product/logstarecollector/>

■LSC ポータルイメージ

ダッシュボード



DSV (リアルタイム監視画面)



※ 記載されている会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

●本件に関するお問い合わせ先

株式会社セキュアヴェイル マーケティング Gr.

TEL : 03-6264-7180 Email: marketing@secuavail.com